

受付印	
収入印紙1200円	
予納郵便切手 900円	

夫 婦 関 係 調 停 申 立 書
事件名 (離 婚)

収入印紙貼付欄 (1 2 0 0 円)

準口頭	関連事件番号 平成 年 (家) 第 号
-----	-----------------------

〇〇 家 庭 裁 判 所	御 中	申立代理人	弁護士 吉 能 平
平成〇〇年〇月〇日			

添付書類	申立人の外国人登録原票記載事項証明書及び相手方の戸籍謄本各1通 委任状 1通
------	---

申 立 人	国 籍			
	住 所	〒 - 電話 - -		
	呼出しの ための 連絡先	〒 - 電話 同上		
	フリガナ 氏 名			西暦 年 月 日生
	職 業	勤務先	株式会社〇〇〇〇〇	
申 立 代 理 人	事 務 所	〒 104-0061 電 話 (03) 3564 - 0020 F A X (03) 3564 - 4750 東京都中央区銀座2-8-5 石川ビル5階 銀座共同法律事務所		
	フリガナ 氏 名	ヨシノ タイラ 弁護士 吉 能 平		
相 手 方	本 籍			
	住 所	〒 - 電話		
	呼出しの ための 連絡先	〒 電 話		
	フリガナ 氏 名			昭和 年 月 日生
	職 業	無 職	勤務先	

申 立 て の 趣 旨	
離 婚	
<p>1 申立人と相手方は離婚する。</p> <p>2 未成年の次の子等の親権者を申立人と定める。 長女○○○○○○○○ 及び 長男○○○○○○○○ (平成 年 月 日生) (平成 年 月 日生)</p>	
申 立 て の 実 情	
同居を始めた日…平成 年 月	別居をした日…平成 年 月 日
<p>1 申立人と相手方は平成 年 月 日にアメリカ合衆国○○○州の方式により婚姻し、同年 月 日には長女○○○○○が、平成 年 月 日には長男○○○○○が生まれた。</p> <p>2 婚姻してからというもの、相手方は申立人のことを金を稼いでくるだけの存在としか見ようとせず、夫婦関係も申立人が願い出た時に相手方が許容することがある程度で、相手方は申立人に全く興味を示そうとしなかった。</p> <p>3 言語・文化の相違から、外国人との婚姻は、日本人同士の婚姻とは異なった困難性を伴うところ、相手方は、申立人の呼びかけにも応じず、積極的にコミュニケーションを取り合おうとはせず、その結果として申立人と相手方との間に精神的な溝が生じた。また、相手方は、再三再四に亘って、申立人に暴力をふるい、家事を放棄するような嫌いもあり、申立人としては、そんな相手方に愛想が尽きていた状況にあった。</p> <p>4 そんな折、平成 年 月 日から、申立人が、○○に転勤となった際、申立人は、当然のこととして、家族である相手方及び二人の子供と○○で暮らすことを希望したが、相手方は全く耳を貸そうとせず、断固として拒絶し、○○へ引越そうとはしなかった。その結果、申立人と相手方との婚姻関係の破綻が決定的となった。</p> <p>5 以上のとおり、相手方は申立人に対して微塵の愛情も見せず、当然ながら夫婦間は不和となり、その結果として信頼関係を築くどころか跡形もなく破壊され、今となっては当事者双方共に婚姻関係を維持しようとする努力もできない状態にある。当事者本人らはもとより、子供の将来のためにも、このような歪な家族関係を早期に終結させ、お互いに健全な生活環境の構築を図るため、本申立をする次第である。</p>	

申 立 て の 動 機

- ① 性格が合わない 2 異性関係 ③ 暴力をふるう 4 酒を飲みすぎる
 ⑤ 性的不調和 ⑥ 浪費する 7 異常性格 8 病 気
 ⑨ 精神的に虐待する ・ 家族をすててかえりみない ・ 家族と折り合いが悪い
 ⑩ 同居に応じない ・ 生活費を渡さない ・ その他

(注) 太枠の中だけ記入してください。 の部分は、当てはまる番号を で囲み、そのうち最も重要と思うものに を付けてください。

夫婦 (3 / 3)